

# 高島市 議会だより

第60号



委員会報告	2
一般質問	4
審議結果・議会報告会のお知らせ	19

## 平成 29 年 6 月定例会報告



不採択とすべき

## 文教福祉 常任委員会

委員長 大槻ゆり子

### ● 請願第3号就学援助制度の 拡充を求める請願書

質疑では、早期に支給するには「適正な制度運用とは言い難い」状況があることや、「請願4項目のうち、入学予定者を対象に3月支給の動きは広がっているようだが、他の項目について全国的な動きを聞かない」などの意見がありました。討論では、「制度の拡充は子育てにがんばる経済的に苦しい環境にある家族を励ますもので、自治体がこれに心えないのは怠慢ではないか。それを必要な時期に手

### 本会議での討論

#### 就学援助制度の拡充 を求める請願書

賛成

福井節子

すでに国は、入学準備金の前倒し支給を認め、全国に広がっている。さらに、クラブ活動費・PTA会費・生徒会費の支給も認めている。経済的に厳しい環境にある子育て世代に、必要な時期に手渡せてこそ制度が生きる。

渡せるようにすることが必要」との賛成討論がありました。採決の結果は「賛成少数」により、「不採択とすべきもの」と決定しました。

### ギャンブル等依存症 対策の抜本的強化を 求め、意見書を可決

## ギャンブル等依存症対策の抜本的強化を求める意見書

「依存症」には、アルコール依存症や薬物依存症をはじめ多様な形態が存在します。その共通点は、自分の意志でその摂取や行動をコントロールできないことにありそれぞれに深刻な問題です。

昨年12月に「特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律」が成立しました。その成立に当たっては衆参内閣委員会における附帯決議で、ギャンブル等依存症の実態把握のための体制整備や、ギャンブル等依存症患者の相談体制及び臨床医療体制の強化などを政府に求めています。政府はこれを受け、ギャンブル等依存症対策推進関係閣僚会議において検討を進め、本年3月に第一段階の取りまとめとして「ギャンブル等依存症対策」に関する論点整理を発表したところです。

これまでにも、ギャンブル等依存症は自己破産、家庭崩壊、犯罪などの深刻な問題を引き起こしてきたが、政府はその実態を十分に把握しておらず、具体的な対策も取られてこなかった。

政府においては、ギャンブル等依存症の実態把握を進め、論点整理等を踏まえ「ギャンブル等依存症対策基本法」を制定することによって抜本的強化に取り組むことを強く求めます。

### 記

1. 公営ギャンブル等を、管轄する省庁は複数にまたがり、かつ規制と振興の担当省庁が同一であるため、既存ギャンブルに対する規制を一元的に統括し規制することが困難であり、ギャンブル等依存症対策の効率的かつ効果的な実施が望めない。より専門的にギャンブル等の依存症対策や対応が可能となるような企画立案、規制と監視を一元的に行う独立組織の設置を検討すること。
2. 3月の論点整理等を踏まえ、早急にギャンブル等依存症の実態を把握し、効果的な対策や具体的な実施方法を検討すること。
3. アルコール依存症や薬物依存症に関しては、それぞれに施策が進められている。ギャンブル等依存症対策の法制化を進める中で、こうした取り組みと合わせ、さらに依存症対策の深化を図ること。

以上、地方自治法99条の規定により意見書を提出する。

平成29年6月28日

高島市議会議長 石田 哲

内閣総理大臣  
内閣官房長官  
あて

### 本会議での討論

#### ギャンブル等依存症対策の抜本的強化を 求める意見書案

反対

森脇 徹

「ギャンブル依存症対策の法制化」でなく、新たなギャンブル依存症を作らない対策は「カジノ解禁推進法」を廃止し、日本で実施しないことだ。ギャンブルへの規制強化と、実態把握や相談の体制整備は直ちにできる。

賛成

大槻ゆり子

意見書は、IR法の是非を問うのではなく、高島市においても専門的医療の体制整備や実態把握をしっかりと取り組むことを求める。



高島市の観光施策の課題について

観光客の増加による安全対策は？



河越安実治 議員

答

県と連携し、安全で気軽に周遊できる環境を作ります。

琵琶湖を一周する「ビワイチ」を気軽にサイクリングするためには、道路環境はもちろんのこと、寄り道コースの整備、インバウンド対策を進めることで、これからも誘客は十分期待できると考える。

しかし、メタセコイア並木、海津大崎の桜など、観光客の中では旅行の目的地となっているが、全国的には認知度が低いなど課題もあるため、次の点を問う。

**問** 観光客の増加による安全対策や県との連携について

**答** 商工観光部長

ビワイチをはじめ、体験型の観光が注目されインバウンドの増加も実感しております。ビワイチにおきましては、特に県との連携は重要であると考えており、市は観光資源の魅力を磨き上げるとともに、サイクルステーションの整備などの受け入れ環境の整備を、県

には走行環境の整備を担っていただいております。今後も相互に連携し、安全で気軽に周遊できる環境づくりに通じて、誘客促進につなげて参りたいと考えております。



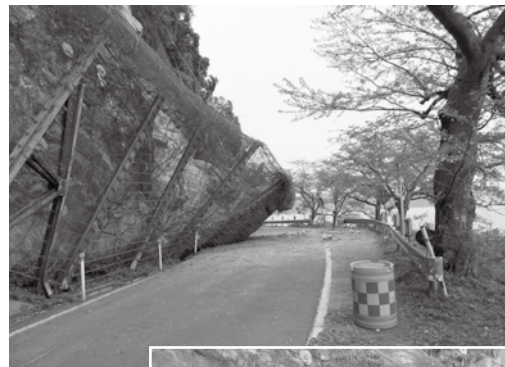
自転車の通行帯を示す青い矢印の道路標示

**問**

施設を活かした新たな観光施策について

**答** 商工観光部長

市内の観光に関わっていただく関係者の一体感を醸成し、連携と協力のもとに一丸となって、観光振興を図っていくことが極めて重要であると感じております。滋賀県をはじめ近隣市町等との連携をさらに深



海津大崎の土砂災害

め、広域観光の推進に努めるほか、各種の観光施策の展開を通じ、観光事業者の皆様が、安心して新しい事業に積極果敢に挑戦していただける環境を整えて参りたいと考えております。

**問**

海津大崎で土砂災害があったが、ビワイチなど観光への影響をどう考えているか。

**答** 商工観光部長

4月の崩落では発生の時期や時間帯によっては人身事故の恐れもありました。安全の確保につきましても、おもてなしの面から大変重要であると認識しており、復旧には万全を期していただくと共に、ビワイチルートの安全確保を強く県に要望してまいります。

●防災対策について

その他の質問